

認知症初期集中支援チームによる 新型コロナウイルス感染症に 関する取り組み状況について

令和2年6月

大阪市福祉局高齢福祉課

①周知・啓発

現状

- 定期的に行われていた集い場が休止し、周知・啓発の場が大幅に減少している
- 予定していた相談会や勉強会、講演、イベントなどが中止になっている

課題

- 従来の周知・啓発活動ができない

取り組み内容

- 既存の周知先へ再周知
- 自粛対象外機関などの新しい機関への周知
(マンション管理人・管理組合・スーパー・コンビニ・銭湯・郵便局・金融機関・薬局・診療所・バス停)
- 周知方法の工夫(ちらしの郵送・預け置き・回覧・掲示板・ポスティング)

- 周知内容の工夫(独自媒体・感染予防)
- 解除後に使用する媒体(ちらし・ケアパス)やイベントなどの準備
- 関係機関とコロナ対策に関する会議
- ホームページ、フェイスブックの活用
- 事務所や区役所窓口のTVモニターでのPR
- 過去の広報のまとめや分析

取り組みの効果

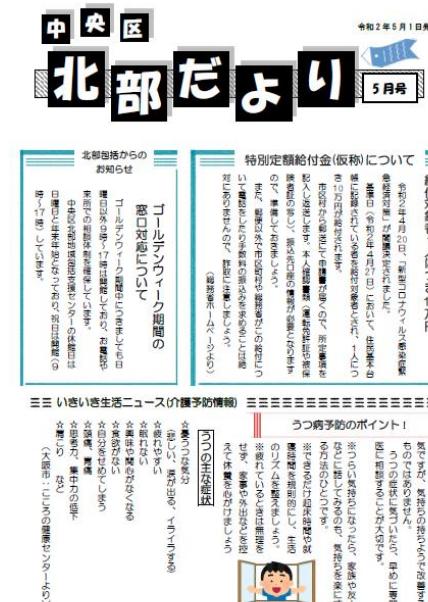
- 既存の機関にチームを再認識してもらえた
- これまで連携できていなかった機関にチームの周知ができた
- 高齢者だけでなく、幅広い年齢層に周知ができた

使用した媒体

- 既存のチームちらし・新しいチームちらし
- 若年性認知症チラシ
- フェイスブック、ホームページ
- チームの案内が入ったポケットティッシュ
- 包括広報誌、掲示板

今後の取り組み

- 新しい機関への周知継続と拡大(マンション管理人・管理組合・スーパー・コンビニ・店舗)
- 幅広い世代への周知(中年世代など)
- 独自媒体の作成



②相談・把握

現状

- 緊急事態宣言後の**相談数が減少**している
- 地域活動の休止により**地域からの相談機会が減少**している
- 地域活動者が見守り活動を自粛しているため、**気づきの機会が減少**している
- 独居者の**安否確認の機会が減少**している

課題

- 初期対応が遅れる可能性がある
- 新たな**把握方法**が必要である



取り組み内容

- **関係機関**(これまでの引継ぎ先や相談元・地域活動者・認知症カフェ主催者・包括・ブランチ・老人センター)への**現状と課題の聞き取り**

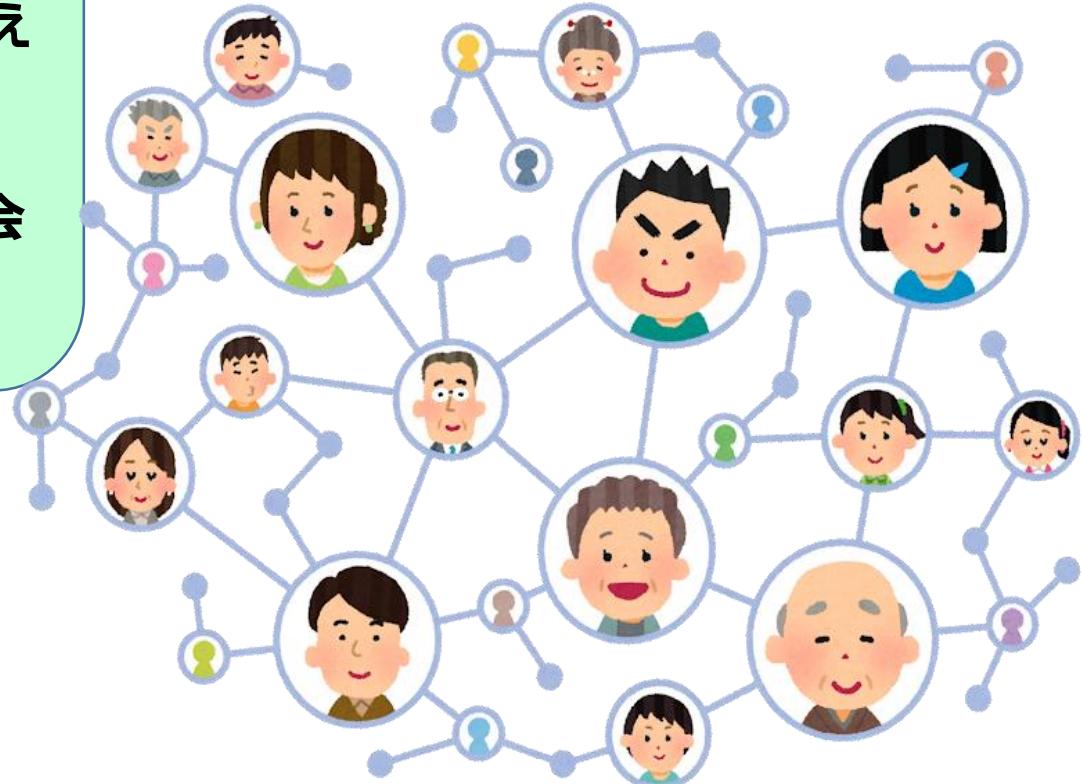
- 支援機関への**後方支援体制の周知**
- 見守りメール登録者へ電話で**状況確認**
- 民生委員児童委員協議会と連携し**高齢者の実態把握**

取り組みの効果

- これまで連携できていなかった機関に働きかけができた
- ケアマネから引き継いだケースに関する報告や相談が増えた
- 現状と課題の聞き取りが今後の支援につなげていく機会となった

今後の取り組み

- 新しい連携先への協働依頼(マンション管理人・管理組合・スーパー・コンビニ・店舗)
- 地域の見守りネットワークとの連携強化



③対象者支援

現状

- 軽度者などをつなぐ**地域資源が休止**している
- 通所介護や入所施設などが新規受け入れを停止するようになり、**つなぎ先が減少**している
- 本人や家族の感染不安から**訪問拒否**されるケースがある
- 本人や家族の感染不安から**サービス利用を控える**ケースがある
- 本人や家族の感染不安から**受診・検査を控える**ケースがある
- 緊急事態宣言下での**初診や認知症検査の妥当性**を問われる
- 地域支援者に同行など**協力が得られにくい**
- **感染症対策を理由に同行が難しい**場合がある

課題

- 支援対象者の認知症症状**進行・増悪**
- 引継ぎ先の**不足**やニーズ**消失**による支援の**長期化・支援困難化**
- 医療機関での**感染不安**
- 介護サービスでの**感染不安**
- 緊急事態宣言下での**緊急性の判断**
- **受診同行や救急搬送**時の対応
- 医療機関により**対応が異なる**
- 訪問時の対象者支援者**双方の感染リスク**



取り組み内容

- ケースの関係機関などへ**間接的な情報収集**
- 訪問支援**方法を工夫**(少人数、短時間、屋外面談、電話の増回、ポスティング、手紙、個別の脳トレ、マスク配布)
- 情報提供**内容を工夫**(感染予防、脳トレ、筋トレ、体操、安否確認カード)
- デイサービスや施設の**状況把握**
- チーム員医師やかかりつけ医による**往診依頼**

- 医療機関との**連携依頼**(通院日調整、電話診療など)
- 自粛に伴い時間のできる**家族への応援要請**
- 訪問時の**感染症対策の徹底**、マニュアル作成
- **バイタルチェックや身体状況チェック**に基づいた緊急性の判断
- 医療機関へ**事前に確認**を行う
- 受診・救急搬送時の**対応ルール化**

取り組みの効果

- 往診による**受診対応**ができた
- 職員、対象者に**感染者なし**
- 本人や家族からのお礼の電話など電話での**つながり**が増えた
- **短時間でも**会って話すことで対象者に**安心**してもらえた

今後の取り組み

- チーム員医師やかかりつけ医、往診専門医などの**往診協力依頼**
- 感染リスクを考慮した**受診方法の検討**
- コロナ詐欺の啓発

④ 家族支援

現状

- 認知症カフェが中止になり、**当事者の居場所**がなくなっている
- サービスが縮小・停止し、本人の居場所がなく、**家族の負担も増加**している

課題

- **介護者の負担増**



取り組み内容

- **自粛解除に備えて認知症カフェの実施機関と企画内容について検討**
- 電話、メールなどによる**傾聴、助言、連絡調整**

取り組みの効果

- これまでの**取り組みを考え直す契機**になった

今後の取り組み

- **自粛解除後各カフェ訪問し取り組みやプログラムについて相談**
- **家族負担について関係機関に聞き取り**

⑤ 会議

現状

- 三密回避のため**従来の会議**ができない

課題

- 代替や**対策**が必要

取り組み内容

- **最少人数**で実施
- **三密**に留意して実施
- **オンライン会議**の実施
- **書面**開催
- **MCS(メディカルケアステーション)**の活用

取り組みの効果

- オンライン会議は事前に資料を読んでもらう時間が必
要だが、**会議時間や移動時間の短縮**になった
- コロナ対策として**ICTの導入**ができた

今後の取り組み

- オンライン会議の検討
- オンライン会議の資料改善
- **ICTの活用**と効率化



参考

MedicalCareStation (メディカルケアステーション)

<https://www.medical-care.net/html/>

全国の医療介護の現場で利用できる地域包括ケア・多職種連
携のためのコミュニケーションツール

⑥業務体制

現状

- 認知症高齢者の感染症理解の低さなどから職員の**感染リスク**がある

課題

- **対策**が必要



取り組み内容

- 訪問時の感染症対策の**マニュアル化**
- 2チームに分割し**交替在宅勤務**
- **テレワーク**の導入
- **ICT**による情報共有(ラインワークス)
- 職場のレイアウト変更(**分散配置**)

取り組みの効果

- **ICTの導入**ができた

今後の取り組み

- **ICTの活用と効率化**